

ロシア連邦によるウクライナ侵略を厳しく非難し、平和的解決を強く求める決議

2022年2月24日から開始されたロシア連邦によるウクライナへの侵略は、国際社会ひいては我が国の平和と秩序、安全を脅かし、明らかに国連憲章に違反する行為である。

これらは、ウクライナの主権と領土の一体性を侵害する行為であり、断じて許すことはできない。

本市では、人類の恒久平和を実現するため、核兵器廃絶をめざし、平和を守ることを強く訴え、平和都市宣言を行っており、ウクライナへの侵略は市民の願いには反するものである。

よって、本市議会は、ロシア連邦によるウクライナ侵略を強く非難するとともに、国際法を遵守し、ロシア軍の即時撤退と平和的解決を強く求める。

以上、決議する。

近江八幡市議会

(提出先)

ウラジミール・ウラジーミロヴィチ・プーチン ロシア連邦大統領